

## 分科会での検討状況について

今期委員会で審議を行っている「多様な主体がつながり、協働が生み出される環境の構築に向けて」については、東日本大震災以降の協働の取り組みの振り返りと今後の方向性を今年度中に取りまとめることとしている。取りまとめにあたっては、実施内容の詳細を検討するため分科会を発足し、9月から作業を開始した。

### (1) 分科会メンバー

其田副委員長、石塚委員、浜委員（3名）

### (2) 開催状況

第1回：令和元年9月11日（水）

第2回：令和元年10月15日（火）

### (3) 実施内容の検討状況

#### ① 広報用リーフレットの制作

- ・委員会で検討していたとおり、東日本大震災以降の協働の取り組みの振り返りと今後の方向性をわかりやすくまとめたリーフレットを制作し、市民への配布及びWEBでの公開を行う。
- ・気軽に読んでもらえるよう表紙を中心としたデザインを工夫し、文字量を抑え、サイズはA3二つ折りとする。（※紙面デザインについてデザイン事業者への委託を行う）
- ・紙面に限りがあるため掲載内容を厳選するとともに、より詳しい内容や活動の支援につながる情報については既存のコンテンツであるサポセンや事例集、動画等に誘導する。

#### ② 映像の制作

- ・協働をイメージしやすい動画を既に制作していることから、新規の映像作成より既存動画の活用に重点をおき、既存映像の周知活動や外部サイトへのリンク設置依頼など、閲覧数増加に向けた取り組みを行う。

#### ③ 市民意見の集約

- ・今後の方向性をまとめるにあたり、市民の方々に意見を伺う機会として、ワークショップの開催を検討した。一方、11月～12月には仙台市主催の協働に関連するイベントを複数実施することとしており、一定数の参加者が見込めることから、単独のワークショップ開催という形式ではなく、課主催イベントの機会を活用したアンケート実施などにより幅広く意見を伺うこととする。
- ・併せて、1月に実施する「市民活動や協働によるまちづくりに関する意識調査」においても意見集約を行う。